

令和4年度 第2回甲賀市下水道審議会 概要報告

1. 開催日時 令和5年2月7日（火） 午後2時00分から午後3時40分まで
2. 開催場所 甲賀市役所 5階 第1委員会室
3. 議事 令和5年度甲賀市下水道事業会計予算（案）について
令和5年度一般会計（浄化槽関係等）予算（案）について
地域再生計画の事後評価について
4. その他
5. 公開又は非公開の別 公開
6. 出席者
委員 的場委員、森村委員、大林委員、金森委員、曾和委員、鵜飼委員、
寺井委員、脇阪委員、瀬古委員、 以上9名

副市長（途中退席）

事務局 上下水道部 中島部長、西田次長
下水道課 山中課長、小嶋課長補佐、藤川係長、
上下水道総務課 谷口課長、伴課長補佐、武村係長、望月係長
7. 傍聴者数 0人
8. 会議資料 別紙のとおり
9. 議事の概要

○出席委員数の報告

出席委員は10名中9名で、委員の過半数の出席であることから、甲賀市下水道審議会規則第4条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告

○会議内容の公開又は非公開について

会長 本日の会議内容の公開、非公開についてであります。当審議会は市の附属機関にあたりますので、公開が原則であります。

本日の資料には個人情報等非公開にしなければならない内容は含まれておりませんので、全て公開とし、議事録での発言者は個人名ではなく、委員として公開させていただきます。

（全員異議なし）

○議事、報告事項

事務局 ——— 令和5年度甲賀市下水道事業会計予算（案）について 資料1
（質疑）

委員 収益的収支で令和5年度予算は、収入は同程度、支出は1億円の減を見込んでいますのか。

事務局 令和4年度決算見込では、1億円程の支出の執行残を見込んでいます。
令和5年度予算については、前年度より若干使用料が増えますが、収入全体は1,600万円程度の減となります。支出は収入と同額です。

委員 「使用料収入が予算比増、合算では微増傾向にある」とあるので、収入が増えると思ったが、令和5年度は増えるのか、減るのか。

事務局 令和4年度決算見込の使用料は、当初予算よりは増となりますが、令和3年度決算と比べると2,500万円の減となります。
令和5年度の予算案では施設使用料を16億6,000万円としており、令和4年度当初予算との比較で2,900万円の増を見込んでおります。

委員 予算より決算見込の支出が1億円の減ということは、市民の健康と安全を守るための下水道支出を減らすことによって、事業は遂行できているか。

事務局 支出の減につきましては、委託費等の入札差額や汚泥搬出による手数料などが見込みよりも少なかったことによるものです。

委員 資本的収支は、順調に企業債を減らし財政健全化に向かっていると思われる。市民にとってはうれしいこと。
資料4頁収入構成で、予算23億円で決算見込が13億円というのは差があり過ぎると思うが、どう考えれば良いか。

事務局 令和4年度決算見込で約9億4,900万円の差には、翌年度への繰越事業が含まれています。

委員 支出は、工事が終わっていないので、翌年度執行のために残してあることはわかるが、収入も翌年度に見込まれるものがあるのか。

事務局 収入についても、工事に伴う国の補助金や起債の借入がありますので、支出が遅れることで収入も翌年度に繰り越すものがあります。

委員 支出はなぜ遅れたのか。それで下水道の安全性が損なわれはしないのか。

事務局 半導体の供給不足や製品の納入遅延により、繰り越さなくてはならなくなりました。事業としては今年度の計画の中で進めたかったのですが致し方ないという状況です。

委員 令和4年度の額について、資料6頁と資料3頁の数字が違っているがどういふことか。

事務局 資料3頁費用構成の予算現額は、動力費、人件費など、12月補正予算を含んだ額となっています。資料6頁の令和4年度は当初予算のため、補正予算は含まれておりません。

会長 当初予算、予算現額、新年度当初予算の関係はわかりにくい。次回以降、特に変動の大きいところは、備考欄にでも説明をいれていただきたい。

事務局 適宜改善してまいります。

委員 使用料改定の議論の中では、このままでは赤字となる見込みだったはずだが、投資財政計画を見ると令和9年度からは黒字となっている。使用料改定は必要ないのか。

事務局 投資財政計画は、審議いただいた使用料改定による増額分を見込んだ計画となっています。ただ実際は改定できておりませんので、令和4・5年度は使用料改定増額分に見合う一般会計からの繰入金を確認して収支が整っている状態です。
令和6年度以降も改定ができない場合は、同様に一般会計からの繰入金を確保することになりますので、このままの計画としております。

会長 今は基準外で繰入金をもたらしているが、使用料改定を決めた公営企業会計の本来の形について再度説明を。

事務局 総務省の基準に基づくもの以外の経費は、使用料収入で賄うというのが本来の公営企業のあり方です。
必要な経費を算出し、使用料設定をしなければなりません。やむを得ず一般会計から繰入金をいただいて事業を継続しています。

事務局 ——令和5年度一般会計（浄化槽関係等）予算（案）について 資料2

委員 2頁の浄化槽設備修繕費補助は条例で定めているのか。

事務局 要綱で定めています。

委員 修繕費補助金の上限額が10万円の次が30万円というのは差が大きい。事業用だと大きな人槽のものもあると思うが、もう少し柔軟性を持たせることはできないか。

事務局 現状、修繕費の補助の利用者はほぼ個人です。上限額が10万円の次が30万円という定めや、企業等への対応については、ニーズも踏まえて今後検討していきます。

委員 浄化槽の利用者は年間どれくらいか。
市内で公共下水道が整備されていない地域はどれくらいか。

事務局 令和3年度決算実績で、設置整備事業補助19基、面的整備事業補助13基、住宅用の促進補助6基、維持管理事業補助525件、浄化槽設備修繕費補助31件。合併浄化槽関係の補助金支出は約2,519万円です。
浄化槽未整備戸数については、正確には把握できていません。
信楽地域での面的整備では、当初計画に対して出来高82%です。信楽地域の全世帯数の63%となります。個々のご事情もありますが、今後も啓発していく必要があります。

委員 アナウンスやPRをしているのか。

事務局 公共下水道の供用開始地域については、順次啓発しています。
浄化槽地域についても継続して啓発していきたい。

事務局 ——地域再生計画の事後評価について 資料3

委員 信楽の観光と結び付けて下水道工事を進めているが、観光や商工課と連携した計画なのか。もっと、市民や団体へも計画が伝わると、共に取り組めたと思う。もっと密にみんなが連携できたら良いと思う。

事務局 直接観光との連携はありませんが、水環境衛生面を良くしていくところから下水道整備に取り組んでいます。
観光トイレを下水道に接続いただくことで、観光客の皆様にも気持ちよくお使いいただけます。
観光面のタイアップについては課題です。

委員 下水道の工事に関して、一本の道を工事する期間が長い。予算があるにも関わらず、工事が進まないのは残念。
各町によって受益者負担金が違う。同じ市に住む者としてゆくゆくは一律

にしてほしい。

事務局 下水道工事は、水道管をどけ、下水道管を入れ、また水道管を戻し、舗装するという、工程がいくつもある工事です。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解をいただきたい。

期間が長いのは、少しでも通行止めの期間を短くしようと思うと、一日に掘る量が少なくなりますので、広い道路よりも遅くなります。もう少し工事を点在しながら進めることも考えておりますので、ご協力いただきたい。

受益者負担金については、地域によって勾配の大きいところや距離の長いところなど、下水道整備に対する費用が違いますので、どうしても差が出てしまう。ご理解をお願いいたします。

会長 繰越事業について説明をお願いします。

事務局 繰越原因については、工事の進捗により予定期間で竣工できず、その分を繰越します。

どうしても順繰りに、予算を翌年度へと送ることになります。

委員 できるだけ早くお願いします。

委員 予算資料でも信楽は特定の地域まで書かれているが、甲賀市全体で、個人住宅での割合は5町で大体同じ位か、極端にどこかが遅れているのか。

事務局 下水道整備としましては、信楽が遅れています。

委員 信楽地域以外にも浄化槽の地域はあるのか。

事務局 例えば、水口地域で幸ヶ平、松尾の工業団地、八田のサテライトパークなどが浄化槽区域になります。

委員 資料3の7頁について、文言の修正をお願いしたい。

事務局 修正します。

委員 地域再生計画は、最終的には下水道だけで報告するのか。

補助金の手続きとしては良いが、総合行政として信楽地区の発展に寄与が必要な時に、他の部局との調整はどこかに示すのか。総合行政化した中で、総合的に考えて連携を取らないと、結局報告だけで終わり、次に活かさないのではないか。

事務局 この評価につきましては下水道が主となりますが、総合行政としてもっと踏み込んだ連携をとご指摘いただいていると思います。今後の課題として、進めてまいります。

委員 資料3の2番で、第三者で構成される委員会などから意見を聴取し評価を行いとあるが、まだこれから評価をされるのか。

事務局 第三者で構成される委員会として、下水道審議会委員の皆様からご意見をいただき、調書などを修正していきたいと考えています。

委員 5頁の地図上で薄い黄色いところが未供用とあるが、この原因は何か。

事務局 黄色のところにはⓅのマークがありますが、これはマンホールポンプを設置する予定ですが、ポンプがまだ据え付けされていません。面整備はしましたけれどもまだ使えないという状況です。

委員 なぜ工事は遅れているのか。

事務局 世界情勢の中でポンプ等の入荷が遅れていますので、繰越となりました。

会長 他にご意見・ご質問もないようですので、本日の議事・報告3件を終了いたします。